



Kyoto Dialog 2019

新たな知恵と想い

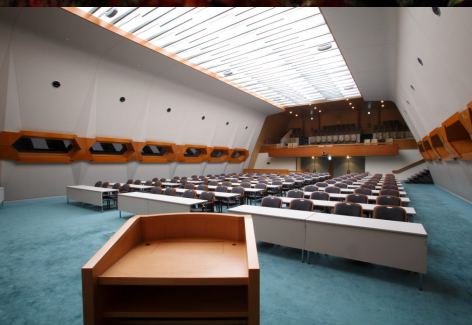
2019年11月19日

交通事故「0」社会の実現に挑戦する
事故ゼロ・フォーラム京都開催

TRAFFIC SAFETY and “ZERO” ACCIDENT

事前登録制

ウェブ、メール、FAXのいずれかよりお申し込み下さい (締切 11月8日)



日程：2019年11月19日(火)
13:00～17:00

参加費：事前登録に限り無料

会場：国立京都国際会館 2F
Conference Room B-1

〒606-0001
京都府京都市左京区岩倉大鷲町422

プログラム(予定)

12:45	開場
13:00	開会のご挨拶 理事長 小園洋輔
13:10	主賓挨拶
13:15	「事故ゼロ・フォーラムとは」
13:45	基調講演 「5G世界動向 ～技術と事故ゼロ、私達が目指す未来～」 事故ゼロ・フォーラム アドバイザー マーク アインシュタイン氏
14:25	「こどもミュージアム プロジェクト」 (株)宮田運輸 宮田 博文 氏
15:00	休憩・ネットワーキングタイム
15:30	事故ゼロ・フォーラム プロジェクト紹介
16:00	パネルディスカッション 梨田 昌孝 氏 宮田 博文 氏 マーク アインシュタイン 氏 小園 洋輔 ※ファシリテーター 三浦 雅弘
16:30	- Kyoto Dialog - 会場の皆様とパネリストの対話 ※ファシリテーター 三浦 雅弘
16:45	閉会のご挨拶

ご参加者様同士で交流頂ける時間（ネットワーキング）も設けております

特別ゲスト

パネルディスカッション



梨田 昌孝 氏

1953年8月生まれ 島根県浜田市出身。選手時代は近鉄バッファローズの躍進に寄与。大阪近鉄バッファローズの最後の監督を務め、北海道日本ハムファイターズの監督、東北楽天ゴールデンイーグルスの監督を歴任。現在はNHK野球解説者として活躍。ユーモアあふれる人柄として人気を博している。

講演 (一部)

交通事故「0」社会への挑戦



事故ゼロ・フォーラム
公式アドバイザー
株式会社アイ・ティ・アール
チーフ・アナリスト
マーク アインシュタイン氏



株式会社 宮田運輸
代表取締役
宮田 博文 氏



事故ゼロ・フォーラム 公式アドバイザー マーク アインシュタイン 氏

事故ゼロ・フォーラム 京都ダイアログ2019では、株式会社アイ・ティ・アールのチーフ・アナリストであり、テレコミュニケーションおよびデジタルメディア業界における市場調査、コンサルティング、経営分析で10年以上の経験を有し、韓国、日本、シンガポール、香港、オーストラリアなどの大手キャリア、および大手通信機器メーカーで多数のプロジェクトを手がけるマーク アインシュタイン氏をゲストスピーカーに迎え、同氏の多大なご協力のもと基調講演を行うこととなりました。（講演の言語：英語 通訳あり）

皆様により広い視点で「事故ゼロ」というテーマへの理解を深めていただく機会として、基調講演の後はパネルディスカッションを通じて会場の皆様とパネリストの対話の場「Kyoto Dialog」も企画しております



専門分野

- ・IoT
- ・5Gネットワーク
- ・Eコマース
- ・フィンテック
- ・ゲーム
- ・AI など

- ・ 北アジアの大手キャリアへの5G事業計画立案の支援、日本の金融機関に向けてアジア太平洋20市場におけるIoT分野への投資機会分析、ゲーム市場における拡張現実の展望についての調査、シンガポールにおける医療、自動車、デジタルサイネージ、クラウドコンピューティング分野での5Gアプリケーションの適用可能性調査の遂行、マレーシアのワイヤレスブロードバンド事業者に対する需要サイドのデューデリジェンスの実施、コロンビア市場における顔認識技術の市場規模算出などに携わる。
- ・ CNN、CNBC、BBC Global、Channel News Asiaなどでのメディア活動に加え、主要なテレコミュニケーション・コンファレンスにおいて講演活動にも従事。
- ・ ワシントン大学で金融学、マーケティング、スペイン語の技術経営修士および文学修士を取得、訪問学生としてタイのランシット大学へ留学。英語に加えて、スペイン語、ポルトガル語、タイ語に長け、また日本語と中国語でのコミュニケーションも可能。

協賛

MS&AD あいおいニッセイ同和損保

あいおいニッセイ同和損保株式会社

こども
ミュージアム
プロジェクト

株式会社宮田運輸

公式パートナー



株式会社アイ・ティ・アール



PDIE

Purpose Driven Innovation

Purpose Driven Innovation Ecosystem

イベントのご参加について

参加
登録

ウェブ、メール、FAXのいずれかより
事前登録をお願い致します（申込締切 11/8）

■ウェブ申込 <https://jikozero-kyoto2019.peatix.com>
※ご利用にあたりPeatix無料会員登録が必要

■メール
貴社名・参加者氏名・所属・役職・電話番号・メールアドレスを
zero@jikozero.jp 宛に送信 ※複数名の同時申込可

■FAX
本紙付属の用紙にご記入の上、事務局宛に送信

※限られた席数となりますので、事前申込がない場合はご入場をお断りする場合がございます
※申込締切後は有料チケットとなります

【イベントのご参加について】

- 本イベントはお申込みいただいた皆様を大切にお迎えする準備をしております。
限られた席数となりますので、キャンセルがある場合はその旨ご一報下さい。
- 事前登録については、当理事会の招待者に直接ご回答頂くか、上記の参加登録方法からお申し込み下さい。
- 当日はメディア取材、事故ゼロ・フォーラムのウェブサイトや印刷物等で掲載予定の写真撮影を行いますので予めご了承ください。お写真を希望されない場合は、受付時にお申し出下さい。
- 当日は受付にてお名刺を一枚頂戴致しますので、お手数ですがご準備下さい。
- プログラム内容は事前の告知なく変更となる場合がございます。

お問い合わせ：一般社団法人 事故ゼロ・フォーラム運営事務局 (株) ジャムス内
(担当) 事務局長 齋藤 zero@jikozero.jp 03-6911-1846
<http://jikozero.jp/>

事故ゼロ・フォーラム Accident Zero Forum Kyoto Dialog 2019

開催：2019年11月19日（火）

会場：国立京都国際会館 2F Conference Room B-1

参加費：事前登録に限り無料（申込締切 11月8日）

<下記申込欄にご記入の上、FAX: (03-6911-1888)宛に送信>

貴社名			
参加者氏名	所属	役職	氏名
電話番号			
E-MAILアドレス	メールにて、お申込み受付確認のご連絡をさせていただきます。ご連絡差し上げるE-MAILアドレスをご記入ください。		

*ご参加者様が交流頂ける時間も設けておりますので、名刺をご用意ください。

「事前アンケート」

※複数回答可

Q1 当イベントにご参加される目的について教えてください。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> フォーラムの趣旨に賛同したため | <input type="checkbox"/> 当イベントのプログラムに興味を持ったため |
| <input type="checkbox"/> フォーラム活動への参加を検討しているため | <input type="checkbox"/> その他（ _____ ） |

Q2 当イベントに期待されることについて教えてください。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 事故ゼロ社会実現の可能性の追求 | <input type="checkbox"/> 交通事故に関する最新情報の収集 |
| <input type="checkbox"/> 自社の商材・技術の向上・革新 | <input type="checkbox"/> 関連分野におけるマーケット動向 |
| <input type="checkbox"/> その他（ _____ ） | |

Q3 事故ゼロ社会の創造へ向けた具体的なソリューション/アイデア（商材・技術を含む）をお持ちの方はご記入ください。

（ _____ ）

Q4 当フォーラムに解決を依頼したい問題・課題やご要望・お悩みがあればご記入ください。

例) 特定の交差点で事故が多発しているため原因の追求と対策を検証してほしい等

（ _____ ）

【お問い合わせ先】

一般社団法人 事故ゼロ・フォーラム運営事務局（担当：齋藤）
 TEL：03-6911-1846（(株)ジャムス内） E-MAIL：zero@jikozero.jp